

【課題】教科書p82～91の「羅生門」を読んで、①ニュースにする際の注意点と②羅生門ニュースの例2つを参考にしながら、③羅生門ニュースを考えて書いてみよう（できそうなら2つ目も！）。④残り時間があれば、お互いに見せ合ったり、アナウンサーになりきってニュースを発表し合ったりして、その感想もメモしよう。

①注意点

- ・今回の課題は、「羅生門」の話を、架空のアナウンサーになってニュースで伝えるための、ニュース原稿を作ることです。まずは、この話をどのようなニュースとして捉えるか考えよう。
- ・次に、客観的な立場からアナウンサーとして、なるほどと聞き手に感じさせるニュース内容を考えよう。
- ・「書き言葉と話し言葉」の違いを意識して、耳で聞いた場合の伝わり方やその表現の工夫も考えて書こう。
- ・下の③に書く際、「〇〇〇〇」とニュースの見出しを付けてから書いていこう。後からでも書き直せます。

②ニュースの例2つ

I. 「悪化する雇用情勢 真面目な青年までも盗人に」※真面目なニュースとして書いた例

次のニュースです。最近、治安の悪化が問題になっている羅生門付近ですが、昨日の夜七時頃、羅生門の楼の上で、雨宿りをしていた五十二歳の女性が着物を奪われる事件が起きました。逃走する犯人の目撃情報によると、犯人は元下人の「へいろく」十九歳ということです。地元では真面目な正直者で知られており、生活に行き詰まった挙句の犯行と見られています。豊かな人が困っている人達に手を差し伸べ、助け合う社会にならない限り、こうした犯罪はなくならないでしょう。なお、その後の犯人の行方はつかめていません。

II. 「初めての引剥ぎ犯行に成功」※道徳的な捉え方から外れた報道例（立場による捉え方の違いも考えよう）

ここからは、都の心温まるニュースをお伝えします。平安京の羅生門付近で昨夜、元下人の「へいろく」さんが、初めて盗みを働くことができました。へいろくさんは、長年お仕えしていたご主人から暇を出されて、このままでは明日の暮らしが成り立たないのに、なかなか盗人になる勇気が出ませんでした。しかし、羅生門の楼で出会った老婆の「きよ」さんの話に勇気づけられ、彼女の着物を剥ぎ取ることに見事に成功しました。へいろくさんは今後、立派な盗人になっていくことでしょう。以上、都の心温まる話題でした。

③「
」

【お互いの感想メモ】